



凡例

①

国際拠点港湾

②

重要港湾等

③

拠点空港

✈

その他空港

■

主なダム(管理中)

▢

主なダム(再開発・建設・実調中)

—

高規格幹線道路(開通済)

- - -

高規格幹線道路(事業中)

□□□□

高規格幹線道路(調査中)

—

主な国道/直轄管理(開通済)

- - -

主な国道/直轄管理(事業中)

—

主な河川/直轄管理



管内事務所・事業位置図

河川

道路

河川・道路

港湾

管轄

岐阜県

三重県

静岡県

長野県

愛知県

①木曽川上流河川事務所

②越美山系砂防事務所

③新丸山ダム工事事務所

④木曽川水系ダム統合管理事務所

⑤岐阜国道事務所

⑥高山国道事務所

⑦多治見砂防国道事務所

⑧木曽川下流河川事務所

⑨蓮ダム管理所

⑩紀勢国道事務所

⑪北勢国道事務所

⑫三重河川国道事務所

⑬四日市港湾事務所

⑭静岡河川事務所

⑮富士砂防事務所

⑯長島ダム管理所

⑰天竜川ダム再編工事事務所

⑱静岡国道事務所

⑲沼津河川国道事務所

⑳浜松河川国道事務所

㉑清水港湾事務所

㉒静岡管轄事務所

㉓天竜川上流河川事務所

㉔天竜川ダム統合管理事務所

㉕飯田国道事務所

㉖庄内川河川事務所

㉗豊橋河川事務所

㉘設楽ダム工事事務所

㉙矢作ダム管理所

㉚名古屋国道事務所

㉛愛知国道事務所

㉜名四国道事務所

㉝名古屋港湾事務所

㉞三河港湾事務所

㉟中部技術事務所

㊱中部道路メンテナンスセンター

㊲名古屋港湾空港技術調査事務所

詳細な管内図を見たい方はこちら

CHUBU

チュウブ 2025年号

発行・国土交通省 中部地方整備局

名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館
TEL:0800-888-3166 (総務部人事課)

どまんなか、支える準備できてる？

CHUBU

Magazine for job hunting students
take free

最強で最高の仲間と一緒に



2025

国土交通省 中部地方整備局

特別定価 0円 @Chubu Regional Development Bureau 2025 printed in Japan

※パンフレットで紹介している職員の所属および現職は、特に記載のない場合、令和6年(2024年)3月時点のものです。

令和7年3月発行

CHUBU

000 00000 00000 0

名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館
TEL:0800-888-3166 (総務部人事課)

CONTENTS

03 PICKUP PROJECT

11 中部地方整備局の仕事

23 キャリアパス

25 働き方・ワークライフバランス

27 若手職員VOICE

29 研修制度

30 採用スケジュール

MISSION

我々は、インフラ整備を生業としています。

だけど、それは目的ではありません。手段です。

中部圏全体の豊かさを高めること。

何気ない日常を守ること。

そして、東西を結ぶ日本の拠点として

日本全体を支えること。

それが、我々の**MISSION**です。

国土交通省 中部地方整備局

国内最大級のダム建設プロジェクトで、最新DXを駆使して高難易度工事に挑む。

インタビュー
動画を
チェック!



デジタル技術を駆使した最先端の現場

現在、ダム本体の工事監督補助のほか、岐阜県や町役場・市役所など関係機関との調整、工事価格の算定などを担当しています。新丸山ダム建設事業の特徴と言えるのが「DX※」で、当事務所は「DXモデル事務所」として他に先駆けてDXを実践しています。私も工事の段階確認・立会確認の際は、現場とすぐにつながれる「DXルーム」で実施。遠隔だと音や匂い、感触での判断は難しいですが、現場の方とのコミュニケーションを密にすることで現地と遜色ない確認ができていると思います。施工面でも、骨材の製造からコンクリート打設までの一連作業を無人で行うという全国初の取り組みを進めていて、ここでしかできない貴重な経験をさせてもらっています。

※DX: デジタル・トランスフォーメーションの略。デジタル技術を活用して、生活やビジネスを変革すること。新丸山ダム建設事業は「3次元情報活用モデル事業(全国15事業)」に選定され、高い技術力とDXを駆使している。

大規模プロジェクトだからこそ、基本をおろそかにしない

新丸山ダムのように膨大な費用と人員を投入する大規模プロジェクトはそうそうありません。その分、やりがいも大きいですが、逆に言えば小さなミスが重大なトラブルに発展しかねませんし、情報共有や意思統一の難しさもあります。だからこそ、仕事の基本「報告・連絡・相談」の重要性を痛感しています。それには日頃から何でも言い合える雰囲気づくりが肝心なので、上司や同僚はもちろん、受注者の方とも積極的に話そう心がけています。また、より効率的に進行する工夫として業務をリスト化し、重要度や緊急度を考慮して優先順位を明確にしています。当たり前のようですが、限られた工期で着実に進めるために欠かせないポイントです。

「流域の生命や財産を守る」という最高の成果に向けて

新丸山ダム建設のきっかけになった昭和58年洪水のような被害は二度とあってほしくない。そう思いながら日々仕事をしています。ダムは地域の皆さんの命や財産を守る大切な砦。それに事業を進めるには住民の方々の協力が不可欠なため、地域振興も常に意識しています。住民の方から感謝や期待の言葉をかけていただいた時には、嬉しさとともに「もっと頑張ろう!」という気持ちが込み上げましたね。新たな挑戦を盛り込んだプロジェクトですから課題も次々出てきますが、皆さんの顔を思い浮かべ、困難もメンバー全員で乗り越えて「流域の生命や財産を守る」という最高の成果に結びつきたいと思います。

新丸山ダム工事事務所 工務第一課

富田 遼

新丸山ダム建設とは

既存の丸山ダムを^{かさ}を嵩上げし、洪水調節機能の強化等を目的として昭和61年に事業着手。新設や再開発とは異なり、運用中の丸山ダムの機能を維持しながら嵩上げ、機能アップを図るため、従来と比べて難易度が非常に高い工事。



AR(拡張現実)技術によって紙の図面を広げずに現場確認が可能に。現在はダムを支える強固な岩盤を出すための基礎掘削が進行中。



DXルームでは現場の様子がほぼリアルタイムで確認でき、画面に複数の資料を出しながら進捗状況を効率良くチェック。



工事の進捗状況について、所内で上司と情報共有。少しでも気になることがあれば、すぐに相談して問題をクリアに。



立体模型を使って工事ステップを説明。令和6年度から本体のコンクリート打設が始まり、完成に向けて着々と工事が進んでいる。

開通を心待ちにしている方のために、 一致団結して工事を着実に進める。

全線開通に向け、 みんなの力を最大限発揮

東海環状自動車道は、愛知、岐阜、三重の3県に跨る延長約153kmの高規格道路です。現時点で約110kmが開通済みで、全線開通に向けて着々と工事が進んでいます。中京圏の都市を環状につないで広域ネットワークを構築することで、環状道路内の渋滞緩和や沿線の産業・観光の支援、災害に強い道路の実現を目指しています。私の任務は、一言でいうと総合調整役です。職員が能力を最大限に発揮できるように目を配ったり、相談事に対して助言をしたり、やることはさまざま。私自身、工事計画から発注、監督まで一連の作業を経験してきたので、それらを生かしてメンバーをサポートしています。

目的の意識付けと 健康管理を第一に考える

事業を滞りなく進めるには、スケジュールと目的の共有が特に大切です。担当業務がそれぞれ異なるので、進捗状況や問題点などは絶えず共有し、「何を目的に仕事しているのか」を事あるごとに意識付けています。また、それ以上に重要なのが一人ひとりの健康管理。部下からは言いづらい場面もあると思うので、私がいち早く気付いてフォローするよう心がけています。やはり、良い仕事をするにはメリハリが必要。仕事を一人で抱えすぎているようであれば解消のために動きますし、定時退庁日には声かけもします。みんなには身体やプライベートを大事にしてほしいですし、私も休日は趣味のバイクであちこち巡ってリフレッシュしています(笑)。

従来の枠にとらわれず、 俯瞰的な視点を大切に

最近よく痛感するのは、俯瞰的な視点の重要性です。例えば、従来の方法だと工期が遅れそうな場合、新たな方法に挑戦するなど多角的に検討することで解決を目指します。また、何かを決定する際には私の意見だけでなく、みんなの考えをじっくり聞くことで新たな気づきが得られることがあります。これは外部とのやり取りでも同様で、受注者の方の想いを汲み取りながら調整するようにしていますね。国土交通省が関わる道路は生活道路であることはもちろん、経済活動において重要性が高い道路です。多くの方から期待されている道路だからこそ使命感に燃えますし、開通した道路を地域の方々が笑顔で渡る姿を見ると「つくってよかった」とやりがいもひとしおです。

インタビュー
動画を
チェック!



岐阜国道事務所事業対策官
山田 光希

東海環状自動車道とは

東名・名神高速道路、中央自動車道、東海北陸自動車道、新東名、新名神高速道路の5本の放射状道路を環状道路で結び、広域ネットワークを構築する。企業活動の向上、物流の効率化、観光活性化等の様々なストック効果が発揮されている。

● 環状道路の機能



分散導入機能
郊外から都心部への交通を分散して導入する複数のルートを確認



バイパス機能
都心に起終点を持たない通過交通をバイパスさせ、場内交通と分離



迂回機能
災害や事故、大規模な工事による交通規制、あるいは交通混雑があった場合など、迂回誘導が可能



道路が通る予定の岐阜県養老郡養老町を上空から見た様子。現在は橋脚が完成し、これから橋桁の建設作業に着手。



養老ICと北勢IC(仮称)を結ぶ工区の岐阜県海津市南濃町地内。完成を目指し、着々と作業が進んでいる。



事務所内でメンバーと進捗状況や問題点などを共有。日頃からコミュニケーションを大切に、風通しの良いチームに。

老朽化を迎える社会基盤をいかに守り、次世代へと引き継いでいくか。



中部道路メンテナンスセンター 保全対策官
山田 満貴子

迫り来るインフラ老朽化問題への対応

私たちの生活を支えている現在の道路や橋梁、トンネルなどのインフラ施設は高度成長期に集中的に整備されたもので、中でも橋梁は10年後に約61%が建設から50年以上経過します。急速に老朽化による損傷が進み対応が急がれますが、全国の橋梁のうち約9割が地方公共団体の管理であり、膨大なコスト負担や技術者不足が課題です。そこで重要なのが、損傷が軽いうちに補修を行う「予防保全」の考え方。これにより安全を担保しながらトータルコスト削減を実現できます。当センターでは予防保全型のインフラメンテナンスに向けてさまざまな工夫を行っており、私も地方公共団体対象の技術相談、研修や講習会の講師などに奮闘しています。

インタビュー
動画を
チェック!



相手が求める情報を 分かりやすく丁寧に伝える

研修の一例として、「橋梁補修DIY」があります。これは言わば、橋梁の損傷箇所の進行を遅らせる「初期手当」のこと。例えば、橋梁の隙間から漏水していれば、発泡ウレタン充填材を使って止水して錆の進行を抑えるなどいろいろな方法があります。こうしたメンテナンスの方法や点検の留意点などを、座学をはじめ現地実習やVR体験で地方公共団体の方々に分かりやすくお伝えするのが私の仕事です。参加者は若手職員や点検・診断の経験が浅い方がほとんどなので、説明時にはメンテナンスの重要性や方法をなるべく丁寧に伝え、聞き手が何を求めているのかを考えながらお話しするようにしています。

一筋縄では行かない、 橋梁メンテナンスの難しさ

老朽化対策は、シンプルに考えれば、橋梁の架け替えが最も簡単な方法と言えるのですが、膨大なコストや人材、時間がかかります。そうではなくて、今ある構造物をいかに長く使うかをまずは考えることが大事。それがとても難しいところで、橋梁の場合は架かっている場所の環境や交通量によって状態は全く違いますし、橋梁の種類や構造も異なります。つまり、メンテナンスも画一的にはできず、適切な補修判断は困難を極めます。私としてはその難しさが、この仕事の面白さであり、手応えを感じるところでもありますね。先輩方がつくってくれたインフラ施設をうまく使い、次世代へ引き継いでいくのが私たちの使命。責任は重大ですが、皆さんの笑顔につながる仕事に携わっていることは幸せなことだと感じています。

ROAD MAINTENANCE

中部道路メンテナンスセンターとは

平成24年の笹子トンネルの天井板落下事故を機に、トンネルや橋梁等の道路施設は5年に1回の点検が義務化。それに伴い、中部道路メンテナンスセンターでは各所の点検データから原因を分析し戦略的・効率的なメンテナンスを推進。



橋梁点検講習会の様子。参加した地方公共団体の職員等に点検支援技術の実演や橋梁補修DIYについて紹介。



橋梁点検ミニ講習会では、小規模橋梁に関する点検・診断の方法などの座学のほか、VRを活用した3次元空間での橋梁点検も実施。



市道の橋脚が大雨で沈下して上部構造に変状が見られた際には、要請に応じて、中部地方整備局の職員が現地に赴き、復旧の技術的助言などを実施。



センター内に保管されている、劣化した橋梁の部材。点検ハンマーで叩いた時の音の高低差などで損傷の有無を確認でき、講習などに活用。

被災地の皆さんの想いを感じながら、早期復旧に向けた活動に専念。

普段と異なる環境下で 細心の注意を払って細かく調査

令和4年9月下旬の台風15号で、甚大な被害に見舞われた静岡県中部地域。中部地方整備局からも河川調査班や砂防調査班らTEC-FORCEが次々と現場入りする中、私は10月4日～8日に道路調査班として支援を行いました。班員は計測係3名と記録・報告係1名の計4名。まず人や自動車が通れるか、応急対策が早急に必要かを確認し、通行止めを余儀なくされる箇所があれば被災状況や規模を細かく記録します。実際、静岡県中部地域はあるはずの道路がない場所も多く、険しい山道を数時間歩いて調査現場に到着し作業開始というハードな業務でした。でも、私たちの調査結果が早期復旧につながると思うと作業に力が入りましたし、被災自治体の手の届かないところを支援できるのはTEC-FORCEの大きなやりがいです。また、被災地に迷惑をかけないよう隊員の安全確保にも細心の注意を払いました。一見大丈夫そうでも歩いたら崩れ落ちてしまう危険がありますし、計測に夢中になると周りが見えなくながちです。周囲の慎重な確認をはじめ、慌てない、無理しないなどの声かけを徹底。一人ひとりの体調管理にも気を配りながら調査を進めました。

【丹羽 武志】

正確かつ分かりやすい 報告書づくりに奮闘

私は、丹羽さんを班長とする道路調査班の記録・報告係として派遣されました。今回の調査現場は足場が不安定な山中。現場でTEC-FORCE活動支援アプリを起動させ、細心の注意を払いながら被災状況の撮影や計測結果を入力していく作業に没頭しました。報告書はアプリが自動作成してくれるのですが、より分かりやすい報告書にするために複数のアングルで写真を撮るよう心がけました。しかし、アプリで効率が上がった反面、山中で電波が届かないアクシデントも。とはいえ、作業を滞らせるわけにはいきません。電波が届く場所を細かく探し回ったり、別の端末で試したりして、何とか無事作業を終えることができました。実はTEC-FORCEの活動は今回が初めて。普段は事務職なので、出発前は「自分に何ができるだろう」と不安もありました。でも、現場に入れば早期復旧のために尽くすことが第一。慣れない環境でしたが、「焦らなくていいよ」などの班長の声かけや班員のフォローのおかげでやり遂げられました。最終日、役場の方々が拍手で送り出してくださった時は感動しましたね。TEC-FORCEとして活動できたことを誇りに思いました。

【佐藤 知尋】

道路部
路政課係長
佐藤 知尋

道路部
交通対策課課長補佐
丹羽 武志

TEC-FORCE

TEC-FORCE (テックフォース) 緊急災害対策派遣隊とは

「TEC-FORCE」は、大規模な自然災害時に、被害状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧などに取り組み、地方公共団体を支援。中部地方整備局では、職員を隊員として任命し、緊急時の備えを行っている。



現場調査後の班ミーティング。被災した地方公共団体との太いパイプ役となって連絡調整を行うことにより、迅速な支援を実施。



土砂崩落箇所や道路、河川の護岸などの公共土木施設の被害状況を短期間に調査。



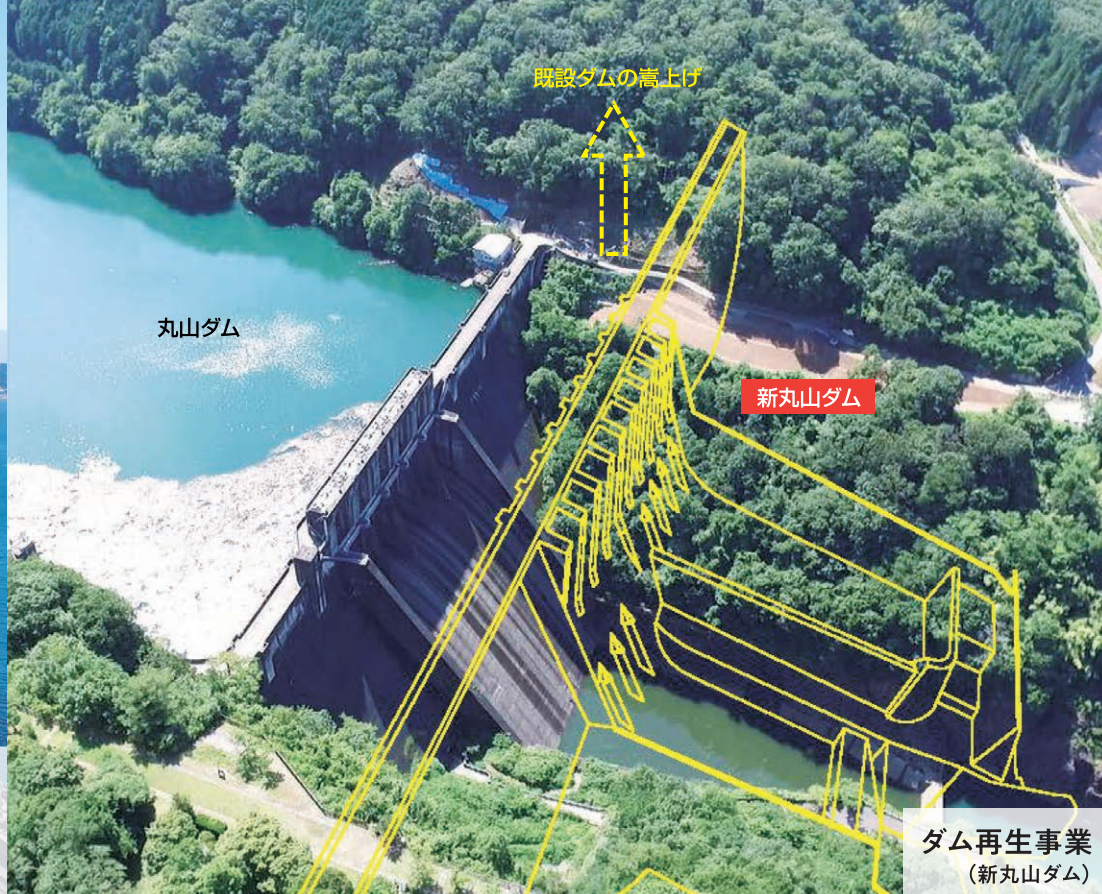
TEC専用アプリを開発し、データの蓄積・共有や資料作成をデジタル化することにより作業の省力化を図る。



被災自治体へ報告書を渡し、調査結果を報告。自治体は、報告書を参考にして復旧工事に着手し、早期の復旧を目指す。

インタビュー
動画を
チェック!





中部地方整備局の仕事 ▶ 河川

誰もが安心して暮らせる 地域に

河川、ダム、砂防、海岸保全などのハード整備、そして河川整備計画や環境保全など
様々なソフト対策を通じて、人々の生命や財産を守り、水と緑と共生する幸せを提供するのが 河川整備の使命です。



事業の流れ

調査・計画



H28年度入省／技術(土木)
河川部 河川計画課 係員

林 大世

気候変動の影響により、洪水が激甚化・頻発化している中、河川管理者のみならず、流域内のあらゆる関係者と協力して行う「流域治水」の取組を更に加速化・深化させるため、気候変動を踏まえた河川及び流域での対策の方針を検討する業務に携わっています。その他、浸水想定区域図やハザードマップの作成・公表など、誰しも一度は聞いたことのあるソフト対策や、有識者や地方公共団体との協議など、多岐に渡って業務に携わっています。

気候変動を踏まえた治水計画検討といった後世に残るビッグプロジェクトから、ハザードマップといった地域の方にすぐに役立つ情報まで、地域の暮らしや命を守る仕事につながるため、非常に大きなやりがいを感じています。

今後必ず起こる大規模災害から人の命を守る仕事したい、そう考えて入省してから9年ほど経ちました。同じ思いを持ったみなさまと一緒に働けることを楽しみにしています。

工事



H28年度入省／技術(土木)
天竜川上流河川事務所
工務課 係長

渋谷 美咲

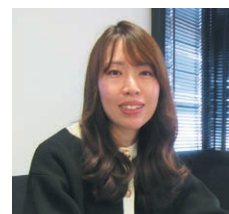
私は、長野県南部から静岡県に流れる天竜川の上流区間において、浸水被害等を防ぐための堤防・護岸整備等の工事に関わる業務を担当しています。

実際に現地で工事を行うには、構造物の設計、自治体との調整、地元の方への説明会、事業に必要な予算要求と多くの段階を踏み、ようやく工事発注ができます。

限られた予算や期限、現地条件等の制約の中で、最大限事業を進捗させるための工程を検討し、上司や関係者と相談しながら、ブラッシュアップしていきます。正解がない中で、自分の意見が反映されることの嬉しさと責任感を感じています。

関係者と協議しながら、一体となってひとつのものを造り上げていくことや、自分が発注した工事が完成し、地域の安全の一助となれることにやりがいを感じます。

維持管理



H27年度入省／技術(土木)
豊橋河川事務所
豊川流域治水出張所 係長

山中 彩希帆

愛知県の東三河を流れる豊川において、平常時には、施設の老朽化や危険箇所についての点検、堤防の除草を行う工事に携わっています。

災害時には、異変を早期に確認し、堤防の陥没等の異常が見つかれば、現状復旧を行います。

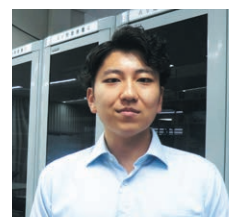
最近ではD X技術を導入し、ドローン写真を活用して大雨の際の状況確認や復旧に役立てています。

新しい技術に触れる機会があり、仕事の面白さを感じるとともに、地域の皆さんの安全に貢献できたときと実感したときにやりがいを感じます。

出張所は地域の方と関わる機会も多く、皆さんの要望に対応するため、対策を考え、その完成形を間近で見られるため自分の成長に繋がる場所です。

地域の方からより親しみをもってもらえるような河川にしたいという想いをもって仕事を行っています。

管理事務



R5年度入省／事務
河川部 水政課 係員

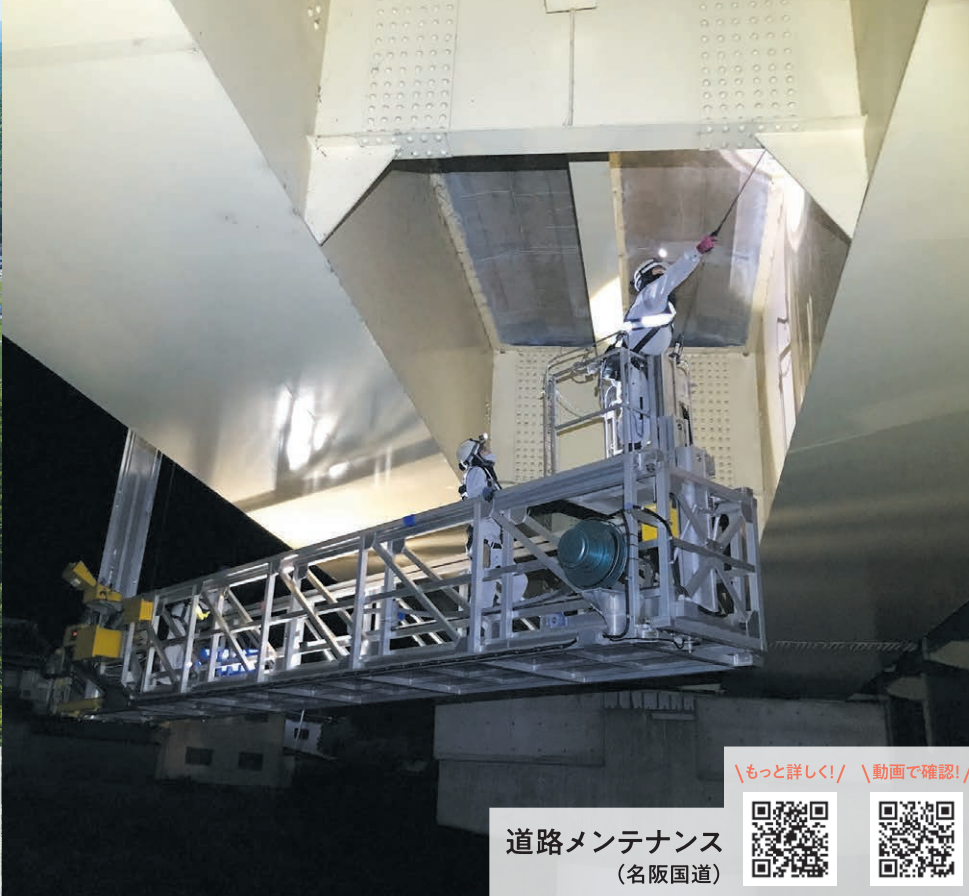
橋本 真央

河川部水政課では、河川の区域を定める行為、河川の敷地や流水を利用したり、砂利採取を行うための許認可、河川に関係する裁判など河川法等の手続き全般に係る事務を行っています。その中でも私は、河川の流水を利用する権利である、水利権の許認可に関する業務を行っています。水利審査は、法令や技術的知識に合わせ、過去の経緯の把握など、複雑で専門性が高い業務ですが、疑問点をそのままにせず、1つ1つ解決することを心がけて業務に取り組んでいます。まだまだ分からないことばかりですが上司が優しく丁寧に教えてくださるので、日々楽しく仕事できています。

また、中部地方整備局では国ならではの大きな仕事に携わることを通じて、中部地方の生活を支える役割を担うことができるため、非常にやりがいを感じられる職場だと思います。



道路の新築・改築
(東海環状自動車道 岐阜IC)



道路メンテナンス
(名阪国道)



中部地方整備局の仕事 ▶ 道路

真ん中で日本をリード ~未来の暮らしの礎を築く~

国道等の広域的な幹線道路網の整備や維持修繕、県道等に対する支援などを通じて、人・モノの流れを生み出し、中部全体の社会、経済を元気にすることが使命です。



道路の維持管理
(雪寒対策)



交通安全:歩行空間整備
(国道19号 桜通り)



地域とのつながり
(ボランティア・サポート・プログラム)

事業の流れ

調査・計画



H29年度入省 / 技術(土木)
道路計画課 係員

勝又 凌雅

もともと公務員を目指そうとは思っていませんでしたが、就職を考えた際、自分の力で地図に載る道を造れることに魅力を感じ、国土交通省を目指しました。現在、業務の一つとして、三ヶ日ジャンクションから三河港までを繋ぐ浜松湖西豊橋道路を作るための計画・調査を担当しています。

これまでに私が担当した静清バイパス(牧ヶ谷IC~丸子IC)では、開通した時この上ない達成感があり、物流業、観光業などさまざまな業界で役に立つことを期待しています。これからは、まだ経験したことのない管理課などで仕事に挑戦し、広い範囲で道路に携わってみたいです。皆さんも、国土交通省中部地方整備局で将来の道を築いてみませんか。

工事



H29年度入省 / 技術(土木)
道路部 道路工事課 係員

鈴木 翔太

いつも使っている道路はどんな道ですか?もしかして...私が担当した道路かもしれません!

私の仕事は地域の皆様に安全で安心して利用できる道路を1日も早く開通させるため、道路の工事発注を担当しています。より永く安全に利用してもらうためにどんな工法や材料を使って造るべきか考え、工事を発注しています。

よく地図に残る仕事なんて言われますが、旅行の計画を立てるとき、自分が携わった道路が本当に地図に載っていました!実際に走ってみると、物流を支えるコンテナトラックや観光地に向かう車、たくさんの人がさまざまな目的で道路を利用していることが分かり、自分の仕事が人の役に立っていると実感できました。自分の携わった工事が人の生活を支える道路となる瞬間を今、将来を考える皆さんにも感じてほしいです!一緒に働きませんか?

維持管理



R2年度入省 / 技術(土木)
沼津河川道路事務所
沼津国道維持出張所 係員

高嵩 理彩

私の地元は岐阜ですが、今は中部地方整備局で最も東に位置する沼津の事務所の出張所に配属されており、いつでも、誰でも、安心して、道路を利用できるように、道路の維持管理をする仕事をしています。配属当初は「静岡県の気候は暖かく、雪が降らない」というイメージでした。ですが、実際は違いました。観光地に向かう車や物流を支えるトラックが多い中、峠では雪が積もります。そんな時、除雪や凍結防止剤散布の作業指示を行うなど工事受注者と協力しながら、第一線で活躍するのがわたしたちです。道路の維持管理は、何かを新たに生み出す仕事ではありません。しかし、1日に6万台以上の交通量をかかえる大きな道路を管理することは、“たくさんのヒトやモノを道路で繋いでいる”。そんな思いで今日も現場に足を運びます。その地域に、その場所に、実際に行ってみないとわからないことがたくさんあります。富士山ってこんなに大きい!?など(笑)少し勇気が必要かもしれませんが、地元から一歩踏み出して、わたしたちと一緒に中部地方を支えませんか?

管理事務



R5年度入省 / 事務
道路部 路政課 係員

小林 志野

私は、中部地方整備局で管理している一般国道において、道路範囲を定める「道路区域の決定」、道路を一般の方々が利用できるようにする「供用の開始」といった道路法に基づく手続きを主に担当しています。また中部管内にある国道事務所等からの依頼や相談の対応をおこなっており、様々な方々と連絡を取りながら業務を行っています。

法令などの専門的な知識が必要となりますが、周りの上司や事務所の担当者に相談しながら毎日新しいことを学べるため、やりがいを感じています。入省1年目ですが、これからも道路管理の知識や経験を積んでいき、人々が安全安心に道路を利用できるよう貢献してまいります。



四日市港霞ヶ浦地区
国際物流ターミナル整備事業



三河港 神野防波堤(北)のケーソン

中部地方整備局の仕事 ▶ 港湾

中部の暮らしを支える

中部のものづくり産業の国際競争力を高め、我が国の国民生活を支えるため、先進的で信頼性の高い物流・人流のインフラの整備、貿易ネットワーク拠点の整備を進めることが使命です。



四日市・いなばポートライン(臨港道路)



清水港
クルーズ船受入拠点(日の出ふ頭)



環境学習
(干潟調査)



名古屋港 完成自動車
輸出拠点(金城ふ頭)



事業の流れ

調査・計画



H26年度入省／技術(土木)
四日市港湾事務所
企画調整課 係長

榎本 葵

四日市港周辺企業へのヒアリングや、各種会議での意見聴取で、四日市港に求められている機能や施設等を把握し、新たな事業に向けた調査・検討を行っています。

港湾事業で整備する施設は、海外との物流などを担う大型船が利用する施設が中心で、直接私達が利用することはあまりなく、身近な施設ではないかもしれませんが、実は、私達の生活を豊かにし、支えてくれている公共施設となっています。

また、港湾事業は、津波の力を抑制するための防波堤整備事業や、災害時支援物資を海上から受入れるための岸壁整備など、港周辺のためだけではなく、さらに背後地域の人々のために、防災機能向上に向けた事業も実施しており、日常だけでなく災害時においても地域に貢献できる仕事であるとともに、責任とやりがいのある仕事だと思っています。

契約



H31年度入省／事務
三河港湾事務所 総務課 係員

加藤 実里

事務所で実施する工事や業務の入札・契約手続きを担当しています。発注が行われることをお知らせする文書の作成、事業者からの申請書類の受付など、入札・契約に必要な一連の事務処理を行っています。

初めは契約金額の桁の多さに驚きましたが、それだけ社会に影響のある事業を担っているということであり、責任の重さを実感するとともに非常に大きなやりがいを感じています。

契約手続きのミスや遅れは事業の進捗に直結してしまうので、必ず複数人の目で確認する、担当課と情報共有を確実にを行うなど慎重に作業を進めています。また、公平かつ適正な手続きを行うことで事業を支えているという気持ちで業務に取り組んでいます。

物流・地域振興



H12年度入省／技術(土木)
港湾空港部 クルーズ振興・
港湾物流企画室 課長補佐

藤田 智志

港湾に関する物流の効率化や地域振興に関する企画及び立案並びに調整を行っています。

近年、自動化、遠隔化やAIの活用など、新たな技術が出てきています。このような最先端技術を活用した効率的な港湾物流の実現に向けて、コンテナターミナル運営者等との関係者調整をしています。

また、地球温暖化に関する取組も重要度が増しているため、港湾全体の脱炭素化に向けた計画策定支援や、その実現に向けた港湾管理者等との関係者調整も行っています。

これらの業務は近い将来だけでなく遠い将来も見据えたものであり、この業務を通して、この地域がどの様に変化を遂げ、そして発展していくのかを想像して仕事をすることは楽しく、やりがいがあるものだと感じています。

管理



R4年度入省／事務
港湾空港部 港湾管理課 係員

今枝 宜紀

私は現在、港湾管理課に所属しています。私が現在、携わっている業務は、地方自治体や民間企業が港湾の国際競争力の強化を目的に行う事業を支援することです。具体的には、補助金が適正に使用されるよう、申請書類を法令に基づき確認したり、交付した補助金が適正に使用されているのが検査をしたりしています。

仕事はデスクワークが中心ではありますが、検査等で現場へ行く機会もあります。現場で港湾の施設を目にすると日本の経済活動を支え、国民の生活を自然災害から守る役割を担う港湾の重要性を再認識するとともに、自分の仕事が誰かの役に立っていることを実感します。



歴史まちづくり(恵那市)



市街地再開発(多治見市)



空き家の活用(伊賀市)



学生を対象にした職業体験フェア



高山地方合同庁舎

中部地方整備局の仕事 ▶ 建政

建政の仕事をもっと詳しく!



まちづくりを応援

安全・安心で活力ある地域づくりに貢献するために、①国営木曽三川公園の整備・管理運営
②まちづくり・住まいづくりの支援③建設業・不動産業者等への支援や指導を担当しています。



H15年度入省／技術(農業土木)
建政部 都市整備課 係長
細萱 智子

私は、中部地方整備局管内で唯一の国営である、木曽三川公園(全国の国営公園の中で年間入園者数第一位の人気公園)に関する仕事を担当しております。

公園とは、年齢・性別を問わずあらゆる方が利用できる空間であり、それぞれの公園に特徴があります。その土地柄や地域に合わせた公園づくりや維持管理だけでなく、イベントの企画等も行いうため、様々な事例や制度を理解し、幅広い知識が求められます。身近な公園が、『法律ではこうなっていたんだ』とか、『この公園はこの制度を活用することでカフェエリアを造っているんだ』といった観点でみると、プライベートでの全国各地の公園散策が非常に興味深く感じられ、仕事へのやりがいにもつながります。



H20年度入省／事務
建政部 建設産業課 係長
石塚 桂太

道路や公園、建築物などは多くの「建設業」に携わる方たちによってつくりられ、良好な公共空間や居住環境を生み出しています。建設業は暮らしや経済活動に「必要不可欠」な存在です。

一方、「担い手」の不足など解決しなければならない課題もあります。契約慣行や労働環境の改善も重要で、建設業法などではこれらの課題に対応するためのルールが定められたりしています。

このため、私たちは建設業者や関係者にルールの周知や指導、建設業の魅力の発信などを通じて「持続可能」な建設業となるべく、様々な知恵を働かせ、前向きに取り組んでいます。

国営木曽三川公園フラワーパーク江南(江南市)



建設業者へのオンライン講習会の様子



中部地方整備局の仕事 ▶ 営繕

営繕の仕事をもっと詳しく!



災害に強い公共建築で 地域を支える

国家機関の建築物(官庁施設)は、行政サービス提供の場としてだけでなく、災害時の防災拠点や、地域の交流拠点としての役割を担っています。官庁営繕は、より良質な建物を提供できるように施設整備を進めています。



R3年度入省／技術(建築)
営繕部 整備課 係員
郷原 瑞季

私は建築の設計担当として、新築や改修する官庁施設の設計図面の審査を行っています。審査にあたっては、来庁者や職員が利用しやすい建物とすることで、高いレベルの安全性やバリアフリーを実現し、また地球環境に配慮するため木材利用を推進するなど、国民の共有財産である官庁施設として求められる性能の水準が満たされた設計となるよう、様々な技術基準を参照して、慎重に進めています。

建築現場に行くことも多いため、図面に描いたものが実際に施工されてできあがっていく様子を見ることができ、この仕事の魅力だと思います。私は高卒で入省したため、環境になじんでいけるか不安でしたが、上司や周りの方々の支えもあり、専門的な知識を学びながら楽しく仕事ができている。ぜひ一緒に働きましょう。



R3年度入省／技術(機械)
営繕部 保全指導・監督室 係員
池田 誠也

営繕部保全指導・監督室では、官庁施設の新築、改修工事の工事監理及び保全指導を行っています。

私は、機械分野を担当しています。監督職員として、主に空調設備や給排水設備などの工事が、設計図面通りに行われているかを確認しています。設計図面通りに、工事が進んでいく様子を最前線で見ることができ、また、完成した後は実際に建物を利用した方々から、感謝の言葉をいただくのすごくやりがいを感じています。

入省時には、建築の知識があまり無い状態で就職しましたが、上司や先輩方が的確なアドバイスをくださり、少しずつ知識が身についていると感じています。1日でも早く、上司や先輩方に近づけるように、より専門的な知識を身につけるべく日々奮闘しています。ぜひ、皆さんもチーム整備局の一員となり、一緒に頑張りましょう。

ハローワーク春日井



津地方・家庭裁判所伊賀支部 伊賀簡易裁判所





レーダ雨量計



災害対策用機械(照明車)



災害対策用機械(排水ポンプ車)

中部地方整備局の仕事 ▶ 情報通信・電気

情報通信・
電気の仕事を
もっと詳しく!



情報通信技術を未来のために

国土交通省における情報通信設備は、社会インフラの維持管理や災害対応といった、地域の安全・安心を守るにあたって非常に重要な基盤となっています。



H21年度入省 / 技術(電気)
浜松河川国道事務所
防災課 係長

山下 裕也

私は現在、河川・道路・ダムの管理や情報提供を円滑に行うための電気通信施設の設計、積算、発注、工事監督、保守等の業務を行っています。

業務の中では、受電設備や発電設備、道路照明などの電気設備、管理用カメラや情報表示板などの情報システム設備、無線回線や光回線を構築するための通信設備など様々な設備を扱うため、各職員が各々得意とする技術や知識を生かし互いに連携しながら業務を行っています。

また、維持管理している設備は、平常時だけでなく災害時にも機能することが求められるため、職員ひとりひとりが責任感をもって業務を行っています。



R5年度入省 / 技術(電気)
木曾川上流河川事務所
防災情報課 係員

若園 聖華

私たち電気通信職員は情報システム、通信ネットワーク、電気設備等の管理をしています。現在、私は河川の整備管理等を担う事務所に勤務しており、CCTVカメラや水位計のデータ収集等、公共インフラの管理に必要な維持管理を担当しています。上司や先輩方が丁寧に仕事を教えてくださるので楽しく仕事できています。

また、災害発生時においては、カメラ映像や水位情報は重要な役割を担い、電気通信施設は現場の情報収集のために必要不可欠です。皆さんとともに働き、地域の皆さんの安心・安全な生活を支えていきましょう。

災害対策室



災害対策車両(衛星通信車)



中部地方整備局の仕事 ▶ 機械

機械の仕事を
もっと詳しく!



「機械」と「技術」で地域のくらしを支える

国土交通省における機械職員は、河川及び道路の機械設備や維持管理用及び災害対策用機械の管理、新技術活用や建設ICTに至るまで、活躍範囲はハード、ソフト両面において多岐にわたります。



R4年度入省 / 技術(機械)
天竜川ダム統合管理事務所
管理課 係長

水野 隆允

私は、天竜川ダム統合管理事務所の管理課でゲート設備の維持管理・整備を中心にダムの管理に携わっております。今年はダムゲートの整備・修繕工事を発注から現場対応まで一連で担当しています。発注の為に図面の作成から積算など、難しいところはありませんでしたが、実際に工事現場に赴いて実物を確認したり、動作確認するのは機械職ならではの経験だと思います。

また、大雨の際などの洪水調節では、ダムのゲート操作で的確な判断と決断力が必要になります。最新の気象情報と過去のデータから放流量を計算し、ゲートを動かし放流するのは重圧がかかりますが、水害から地域を守る防災の要なので、とてもやりがいがあります。いろいろな課題がありますが日々の成長を実感できる仕事だと思います。



R4年度入省 / 技術(機械)
木曾川上流河川事務所
管理課 係員

岸 真由

私は、所属する河川事務所において、土木構造物と一体となって設置される排水機場のポンプや水門等の河川用機械設備の設計、施工、管理を担当しています。

河川用機械設備は、大雨、台風等で家屋の浸水を防ぐなどの機能を発揮します。その機械が滞りなく稼働できるよう尽力することが機械職員の重要な仕事です。

配属されて初めて見る機械も多くありましたが、その分日々業務に携わる中で、新しい知識を得たり、多くの発見がありました。

設備を新たに設置したり、古くなった設備の修繕に携わり経験を積み上げ次の仕事に生かしていく。自分が成長しているのを実感しながら仕事をすることができると感じています。

ダム放流設備



排水機場



総務・経理業務



総務部 会計課

大見・堤・高本

私たち会計課では、職員の給与・各事務所の公共料金等の支払事務や支払書類の審査を行っています。

支払事務では小切手を作成し、それを銀行に持参し支払いをしています。扱う金額が大きいため、責任感とともにやりがいを感じながら業務に取り組んでいます。

支払書類の審査においては手引きや法令に基づき、請求金額に誤りがないか、契約書等を見ながら確認をしています。

業務施工等に直接関わる仕事ではありませんが、どの事業においても支払業務は必要不可欠です。

その過程に関わることで間接的に中部地方を支えているということにやりがいを感じます。



技術系職員
だけではない！

事務官

の活躍



用地業務



北勢国道事務所 用地課

伊藤・近藤



私達は、公共事業に必要な土地の取得や建物等の移転補償などを行っています。

土地所有者など多くの方々と信頼関係を築きながら、「地図に残る仕事」の先駆けとして重要な仕事を行っています。

用地交渉を行い、土地を取得すると工事が行われ、新しい道路が造られます。すると、直接公共事業に関わることができ、自分の携わった仕事にとってもやりがいを感じます。

土地所有者の方々から大切な土地を譲っていただくことになりますので、用地担当職員としての責務を果たし、信頼を得られるよう日々研鑽を積むことに心がけています。皆さんも自分の力で「地図を創る」ことができる仕事に携わってみませんか。



沼津河川国道事務所 道路管理課

大野・原田・安達



私達は、人々の生活を支える道路の安全を守る仕事をしています。

具体的には、日々の道路パトロールや維持修繕等の現場管理の他、国道の敷地に電気・ガス・上下水道等のライフラインを設置する際に必要な「道路占用許可」の審査業務や、災害時に備えて防災計画の策定や、地方自治体や警察・消防等と連携した防災訓練の実施など管理に関するソフト面での業務に携わっています。

私達が管理しているのは、地域間をつなぎ人々の生活や物流等の経済活動に大きく貢献している重要な道路です。

そのような道路を人々が安心して快適に利用できるよう日々管理を行い、災害に強いまちづくりを目指して仕事をしています。

道路の現状を確認するために実際に現場に行くことでスケールの大きな仕事をしていることを実感し、大変やりがいを感じます。



道路業務



建政部 計画管理課

村上・白石・大谷



建政部 計画管理課では地方公共団体が行うまちづくりの支援を総合的に行っています。地方公共団体の行う都市計画決定の同意や都市計画事業の認可、各自治体へ補助金の交付、歴史資源を活かしたまちづくりの支援・PRなど、その仕事は多岐にわたっています。

実際に業務で携わったまちが整備された姿を見ると、自分の仕事がきっかけで地域の賑わいが創出され、魅力的なまちになっていることを実感し、やりがいを感じます。

日本の真ん中、中部地方の活力あるまちづくりに携われることが中部地方整備局の大きな魅力です。

中部地方がより魅力溢れるまちになるよう、みなさんも私たちと一緒に、これからのまちづくりに挑戦してみませんか。



建政業務



キャリアパス

事務



建政部 計画管理課 係長
松宮 大昌

平成19年4月 入局

▶ 小里川ダム管理所 総務係

大学を卒業して初めての社会人生活。当時の上司をはじめ、周りの先輩職員に仕事の仕方や国交省職員としての心構えなど、一からすべてを教えていただきました。とても優しく接していただき、1年目からやりがいを感じながら楽しく仕事をすることができました。

Key Points

平成23年4月 市役所へ出向

▶ 豊川市役所 建設部都市計画課

豊川市役所では中心市街地活性化に向けた様々な施策に携わりました。

補助金の交付申請をはじめ、地域のゆるキャラのPRや地元企業とゆるキャラとコラボしたカップ麺の制作、豊川稲荷の門前町の景観の整備など、市ならではの仕事を体験させていただきました。市役所から国土交通省中部地方整備局を見ることで視野が広がり、その後の仕事にも活かすことができ、自身の成長を感じられる2年間でした。



平成25年4月
紀勢国道事務所
熊野維持出張所 係長



令和5年4月
建政部 計画管理課
計画調整第一係長

令和3年4月
総務部人事課 企画係長

平成29年4月
蓮ダム管理所 総務係長

平成27年4月 記憶に残る大きな仕事

▶ 三重河川国道事務所 道路管理第一課 占用係長

平成28年5月に開催された三重県伊勢志摩サミットに関係する仕事に携わりました。関係者や一般道路利用者の安全で円滑な移動の確保のために、三重・愛知両県の道路・交通関係11機関で構成される広域連絡協議会を設置し、サミットの準備を行いました。サミットという国の大きな行事に仕事として携わることができ、大きなやりがいを感じました。サミットが無事閉会した時の達成感は今でも鮮明に覚えています。

略歴

平成20年10月
本局総務部 会計課

河川



河川部 河川管理課 係長
柴田 賢

平成24年4月 入局 ～当時の自分が感じていたこと～

▶ 河川部 河川計画課

中部地方整備局管内の国が管理しているすべての河川における河川堤防の整備状況などを調査・集計するために、「完成堤」、「定規断面」などの河川用語を片っ端からgoogle検索したり、河川法、省令、施行令、河川管理施設等構造令などの仕事する上で必要となるルールや河川用語の多さを痛感し、勉強していました。

また、平成23年に東日本大震災が発生していたため、河川管理施設の「耐震対策」の強化が必要だと感じていたことも記憶しています。

Key Points

平成28年4月 本省へ出向 ～我が国の土砂災害防止を考えて～

▶ 本省 水管理・国土保全局 砂防部砂防計画課

土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害の恐れのある区域について危険を周知する必要がある、47都道府県が行う「基礎調査」に関する予算要求や区域指定を担当していました。全国が抱える課題を一緒に解決していく中で、全国に人脈が広がり、多方面に頼れる方が増え、人生の財産になっています。

また、出向していた平成28年には熊本地震、平成29年には九州北部地震が発生し、土砂災害の恐れのある区域として指定されていない箇所でも土砂災害が発生したり、要配慮者利用施設が被災する等、ソフト対策の重要性を改めて認識しました。このとき、要配慮者利用施設の避難体制の強化を図るため、土砂災害防止法の改正にも関わり、我が国全体に関係する本省ならではの醍醐味も経験することができました。



平成30年4月
庄内川河川事務所
管理課 管理係長

令和2年4月
木曽川上流河川事務所
調査課 計画係長

令和3年4月
木曽川上流河川事務所
工務課 工務係長

令和4年4月 河川法に基づく許認可

▶ 河川部 河川管理課 河川管理係長

河川には道路や鉄道の橋梁、農業や工業のために川の水を取水する堰など、さまざまな工作物が設置されています。

このような施設は河川法に基づき、洪水を安全に流下させることの妨げになっていないか？など多くの審査項目をクリアする必要があり、構造力学、コンクリート工学、各種数値計算など多岐にわたる知識を総動員して課題解決に知恵を絞りました。

令和5年4月
河川部
河川管理課
維持修繕係長

略歴

平成25年4月
沼津河川国道事務所 調査第一課

道路



道路部 計画調整課 係長
宮條 ミチル

Key Points

平成22年1月 仕事と育児の両立

▶ 産前産後、育児休業

第1子休暇中に第2子を授かり、育児に専念したい思いから、連続して約5年間の育児休業を取得しました。職場復帰前は仕事と家庭の両立に不安を抱きましたが、まずは家庭を優先しなさい、と大先輩からのアドバイスで心が軽くなったことを覚えています。

復帰後は育児時間をフル活用し、見合った業務量に調整頂くなど、職場の理解に支えられてきました。仕事も家庭も周囲に頼りながら、無理なく楽しく過ごしています。

平成16年4月 初めての道路事務所

▶ 静岡国道事務所 調査課

国道1号静岡バイパス清水地区でのPI方式を導入した構想段階の道路計画に携わりました。上司の指示のもと、委員会3回、検討会5回、ワークショップは3地区で計10回(延べ249名参加)開催し、合意形成を踏ることの大変さを経験しました。平成17年度国土交通省国土技術研究会にて成果発表も行いました。



平成14年4月 入局
越美山系砂防事務所
工務課

略歴

平成18年4月
三重河川国道事務所
管理第二課

平成28年4月 変わる景色に感動

▶ 愛知国道事務所 工務課 専門員

最盛期を向かえた名二環の橋梁工事発注を担当しました。自分が発注した橋が架けられた現場では、景色が変わる瞬間に立ち会えたことに感動しました。

平成27年4月
紀勢国道事務所
管理第二課



令和4年4月 待ったなし！道路老朽化対策

▶ 中部道路メンテナンスセンター 技術第二課 係長

維持管理・更新費用の縮減に向け、予防保全型メンテナンスへの本格転換を広く伝えることが使命でした。私の担当は、中部地整管内の約5500の橋梁について、定期点検結果に基づき損傷原因に関する所見をまとめ、健全性を診断する役割、いわゆる橋のお医者さんでした。橋梁点検士の資格も取得し専門的な分野を学ぶ機会となりました。



令和5年4月
道路部 計画調整課 係長

令和2年4月
名古屋国道事務所
交通対策課 係長

平成30年4月
名古屋国道事務所
管理第二課 係長

港湾



港湾空港部 港湾事業企画課 係長
前田 千

平成23年4月 他の地方整備局へ出向

▶ 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所 保全課 係長

初めての中部地方整備局以外の勤務です。フェリーの大型化に対応した新たなターミナルを整備する事業に携わり、耐震岸壁の整備等を行いました。初めて行く地域だったことから、会う人、見るもの、聞くものすべてが新鮮で、仕事もプライベートも非常に充実した2年間でした。



平成17年10月 入局
四日市港湾事務所
第一建設管理官室

平成19年4月
港湾空港部
港湾事業企画課

平成21年10月
三河港湾事務所 保全課
係長

平成21年4月
三河港湾事務所 工務課

平成18年4月
四日市港湾事務所 工務課

令和3年4月 本省へ出向

▶ 本省 港湾局 計画課、技術企画課 係長

全国の港湾の整備事業や交付金事業の予算のとりまとめ等を担当しました。また、新たな制度の立ち上げや港湾のDXを推進する施策にも携わりました。

本省では国の重要施策に関わることができます。非常にやりがいのある仕事であるとともに、貴重な経験を多く積むことができ、その後のキャリアに好影響を与えてくれると感じました。



平成30年4月
企画部 企画課
係長

平成25年4月
名古屋港湾事務所
名古屋港浚渫土砂活用室
係長

平成28年4月
清水港湾事務所 工務課
係長

平成26年4月 資格取得(技術士)

▶ 名古屋港浚渫土砂活用室 係長

名古屋港新土砂処分場の整備が漁業に与える影響を明らかにするために、委員会等において有識者の指導・助言を得ながら、伊勢湾の様々な環境を調査しました。その調査結果を基に、水産関係の専門家等と整備が漁業に与える影響について分析等を行うなどして、非常に深い知識を得ることができ、技術士の資格を取得することができました。

令和5年4月 更なる成長に向けて

▶ 港湾空港部 港湾事業企画課 係長

工事の積算、補助事業に関わる業務、DXによる業務効率化等を行っています。これまで本省を含めて様々な場所で様々な経験を得てきたことで、業務全体を俯瞰的に見る能力が身についてきたと感じます。今後はこの能力を磨き、中部地方整備局に貢献できるよう努力していきます。

Key Points

ワークライフバランス・働き方

＼ここがイイ！／

中部地方整備局のワークライフバランス

仕事と育児の 両立を支援する 制度の充実



女性の育児休業はもちろん、男性も育児のための休暇を100%取得しています。また、職場復帰後の制度も充実しており、制度を活用しやすい環境が整っていることから、安心して働き続けることができます。



職場復帰後の主な制度

- 育児短時間勤務 …… 短い勤務時間での勤務
- 育児時間 …… 1日の勤務時間の始めか終わり(2時間まで)で勤務しないことが可能
- 子の看護休暇 …… 年5日(対象となる子が2人以上の場合は年10日)の休暇
- 深夜勤務、超過勤務制限… 月24時間・年150時間以内に制限

男女
問わず
利用可能

＼もっと詳しく！／



フレックスタイム制度の利用のしやすさ

フレックスタイム制度とは、5時から22時の間で、フレキシブルに勤務時間を設定できる制度です。土日祝の休みのほかに週1日勤務しない日を設定することもでき、個々人の生活に合わせた柔軟な働き方が可能です。多くの職員が制度を利用した経験があり、採用1年目から利用できます。



こんなことができる！

- 朝の通勤ラッシュの電車を避けて通勤
- 子どもの送迎に合わせて勤務時間変更
- 皆さんが出勤前の静かな時間に集中して作業

【単身赴任の場合】

- 金曜日は退勤時間を早く、月曜日は出勤時間を遅くすることで家族との時間を長く確保

＼ここが知りたい！／

中部地方整備局の働き方

Q. 初任給は？

▶大卒程度：220,000円～

▶高卒程度：188,000円～

その他、勤務地に応じた地域手当や、通勤手当、超過勤務手当、住宅手当等が支給されます。

ボーナスは年2回(6月、12月)〈合計4.6ヵ月分〉支給されます。

【例：名古屋市内勤務の場合】
(地域手当込み)

▶大卒程度：250,800円～

▶高卒程度：214,320円～

(令和7年4月1日時点)



Q. 勤務時間や休暇は？

▶勤務時間：8:30～17:15(7時間45分)

※名古屋市内勤務の場合 9:15～18:00

※休憩時間 12:00～13:00

※フレックス制度を活用し、勤務時間を変更することも可能です。

▶休日：土日・祝日、
年末年始(12月29日～1月3日)

▶休暇：年次休暇／年20日(採用の年は15日)
※残日数は20日を上限として翌年に繰り越し可能

▶その他の休暇：

夏季休暇、結婚休暇、
病気休暇、介護休暇、



Q. 休暇は取れる？

仕事とプライベートのバランスをとることを大切にしており、計画的に仕事をすれば休暇を取りやすい環境です。

1時間単位で取得することが可能なため、自由度も高くなっています。

また、気軽に休暇を取得できるように様々なキャンペーンを行っており、平均で年16日程度、年次休暇を取得しています。



＼聞いてみた！／

制度利用者の声

どのような制度を利用？ 利用してみよう？

育児休業を取得した男性



河川部 河川計画課 係長

坂井 文也

私は1人目の子どもが生まれたタイミングで約2か月間、育児休業を取得しました。なにもかも初めてで不安なときを夫婦で一緒に乗り切ろうと、妻と相談して出産直後のタイミングで取得しました。忙しい時期でしたが、職場からは「今しかできないこと」ということで前向きに送り出してもらい

ました。育児休業のおかげで24時間妻・子供と一緒にいてあげることができて本当によかったと思います。職場へ復帰した後も、子どもの病気やトラブルの際には、テレワークを活用したり、年次休暇を取得して家族の近くで過ごします。子育てと仕事を両立しやすい環境になっていると感じます。

子育てしながら働く女性

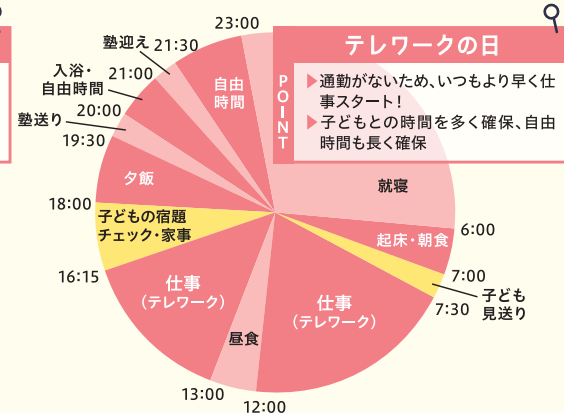
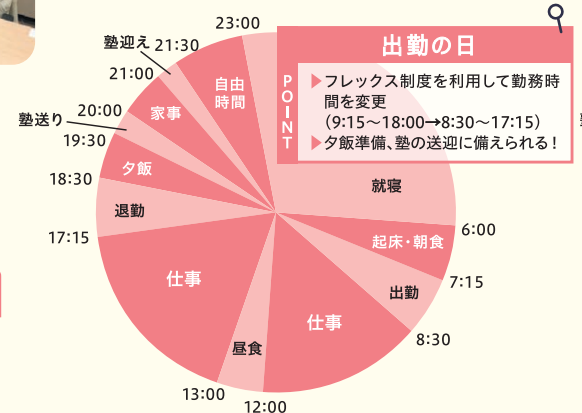
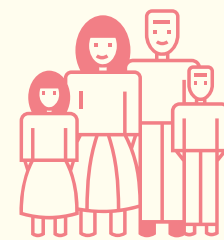


総務部 人事課 係長

今井 麻子

現在、中学生と小学生の子どもを育てており、仕事と家事・育児を両立させるため、フレックス制度と週1回程度テレワークを利用しています。テレワークでは、通勤がないため、子どもとの時間

を増やせたり、自由時間が確保でき、買い物や趣味を楽しんでリフレッシュしています。フレックスやテレワークを使うことで静かな環境で仕事ができるので、作業効率があがりました。



Q. 配属先は選べる？

毎年、全職員を対象に、勤務地や仕事内容について意向を確認しています。本人の希望を踏まえ、適材適所に配属しています。必ずしも希望が叶うわけではありませんが、結婚や出産、介護などの特別な理由がある場合は特に配慮されます。中部地方の様々な土地での暮らしや貴重な体験、多くの出会いを楽しんでみてください。



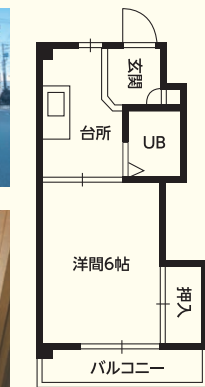
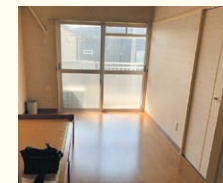
Q. 転勤の頻度は？

概ね2～3年程度で部署を異動します。すべての異動で引っ越しが必要となるわけではなく、同じ事務所内での課の異動や、転居せずに近隣事務所への異動もあります。様々な土地で課題に対応することで、多くの成長に繋がります。また、異動に伴い引っ越しが必要となる場合には、引っ越し費用などの赴任旅費が支払われるため、ご安心ください。



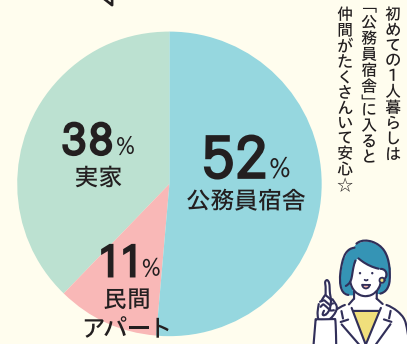
Q. 住むところは？

各事務所の通勤圏内に宿舍が用意されています(入居状況によっては利用できない場合があります)。なお、賃貸アパート等を借りる場合は住居手当(16,000円を超える家賃の額に応じて最高28,000円)が支給されます。

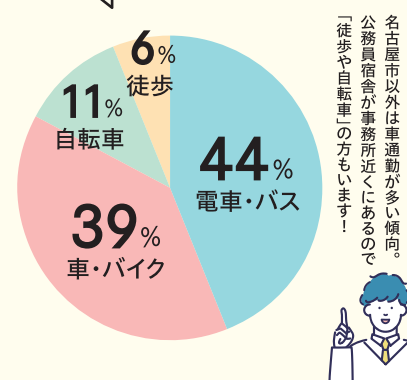


若手職員アンケート

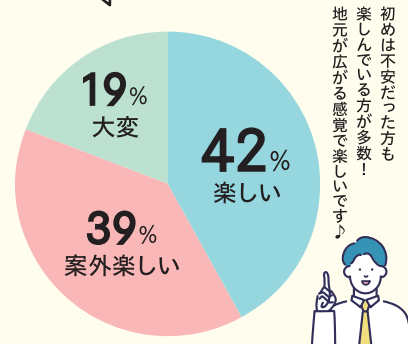
Q.どんなところに住んでる？



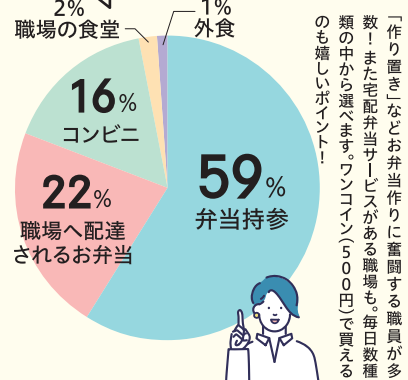
Q.主な交通手段は？



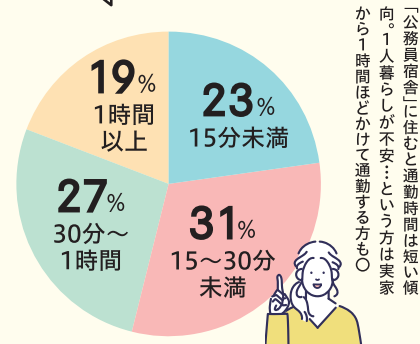
Q.地元を離れてみてどう？



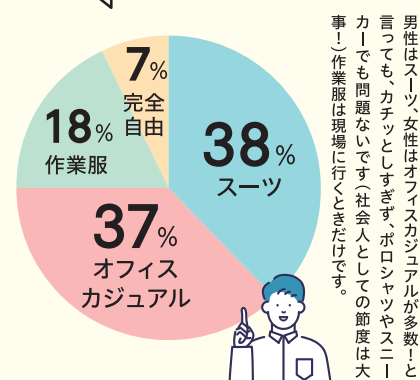
Q.ランチはどうしてる？



Q.通勤時間はどのくらい？



Q.職場での服装は？



若手職員の生の声、Instagramで発信しています

建設部門
行政・河川・道路
建築・電気・機械



港湾部門
行政・港湾



#入省のきっかけ



説明会で耳にした「地図に残る仕事」というフレーズが強く印象に残ったことがきっかけ。また、「社会の当たり前を支える仕事」とあるという点に魅力を感じました。

#1年目の仕事内容



所属の用地第一課では、事業を行うための土地を取得することを業務として行っています。私は現在、事業予定地がどのような土地で誰が所有しているのかといったことを調べる権利調査を主に担当しています。

#休みの日の過ごし方



プロ野球の試合をよく見に行っています。今年からは声出しも解禁され、球場本来の雰囲気を楽しむことができている。職場からドームが近いので、仕事終わりに同期と行くこともあります📺

#がんばるみなさんへメッセージ



就活生のとき、常に向上心を持っていきなや、という気持ちに押しつぶされそうになったことがありました。気分が乗らない日は就活と全然関係ないことをしてもOK。自分の機嫌は自分で取れるようにするとこれから先の人生にも役立つはず！



学校で身につけた防災に関する知識を活かして、中部地方を災害に強いまちにする取り組みに携わりたいと思ったからです。また大規模災害が起きた時に、TEC-FORCEとして被災した地域を助けたいと思ったからです。



国道25号名阪国道において、交通事故等の課題に対処するために、インターチェンジの改良工事に関する事業に取り組んでいます。その中で、工事発注に関する資料作成、議事録作成、打ち合わせの日程調整を行っています。



家で音楽を聴いたり、テレビやアマゾンプライムを見たりとんびりしていることが多いです。車の運転練習も兼ねて、市内のお店の散策もしています。(少しずつ運転出来る範囲も広がってきました笑)



規模の大きな業務に関わることができる点、日本の輸入・輸出を支える重要施設である港湾の開発、維持管理を通して国に貢献できる点に魅力を感じ、入省したいと思いました。



船に乗って工事の現場に行き、安全確認を行っています。仕事を進める中で変更点などがあつたときに、受注者の方や関係部署と打ち合わせを行い、工事を円滑に進められるよう奮闘しています。



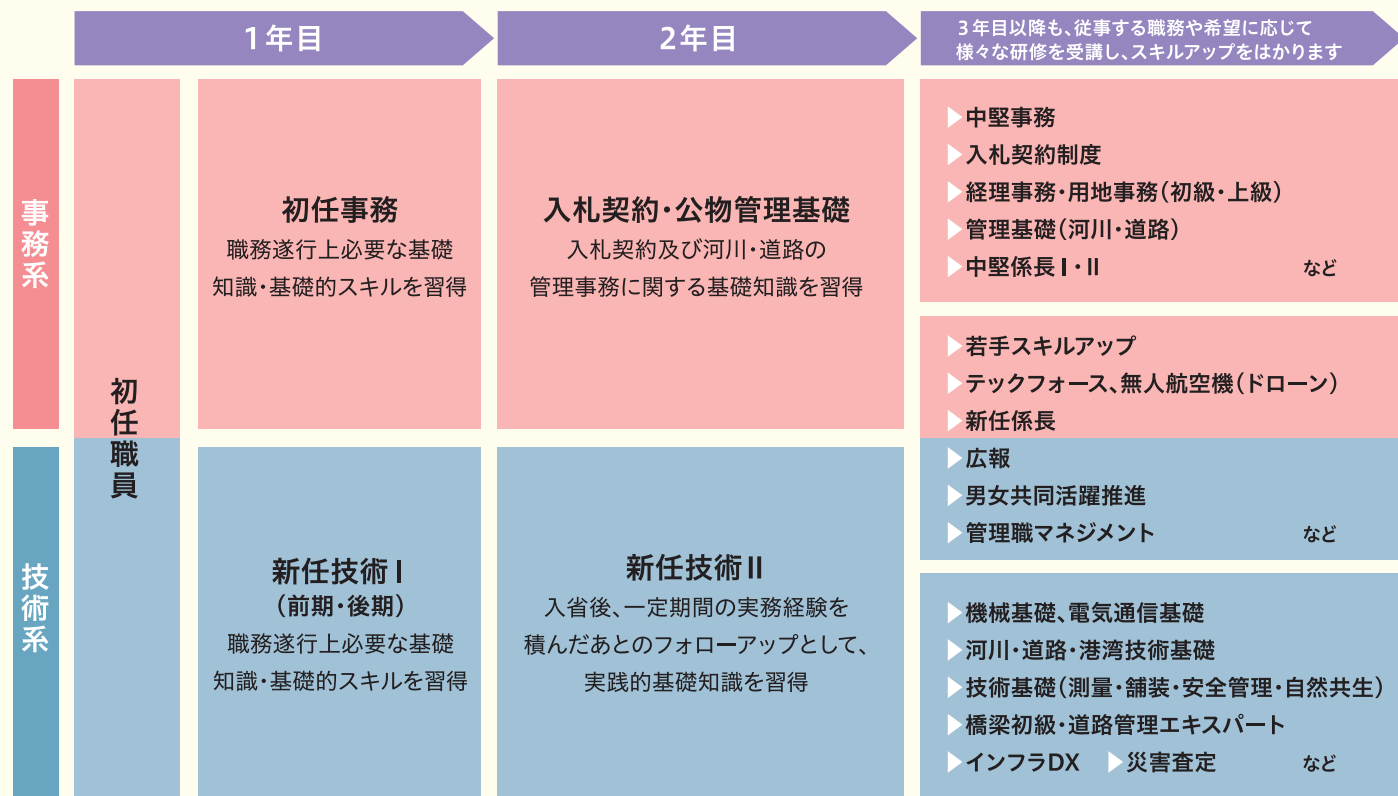
学生時代にやっていたテニスを、職場の方に誘われ再開しました。他の事務所の方、幅広い世代の方と交流を深めることができている。

公式SNSの更新や現場見学会対応を通して、一般・地元の方から期待の声を聞いたとき	自分の知識が着実に増えていき、業務の一員になれていると感じたとき	開通式の際に道路の重要性や地域からの期待などを実感し、そのような事業に携わること	携わる工事の規模がやはり大きく、自分が担当している工事の現場を見学した時は感動した	トンネルが貫通する瞬間に立ち会えたこと。地図に残る仕事に携われていること	1年目から重要な仕事を任せてもらえたり、現場に赴くことも多いのでたくさん経験ができること
フィールドワークが多く、目で確かめることで事業規模の大きさを実感したとき	やりがいを感じた瞬間	建設現場に行き、インフラが出来ていく様子をみて、これに携わっていることを実感したとき	中部5県が管轄なので、色々な土地を知っている人に出会えること(美味しいものやおススメの場所を開ける！)	改めて中部地方整備局を選んでよかったこと	地方公務員と比べ部署が多いため、自分の好きなジャンルでキャリア形成しやすいこと
徐々に自分で考えて行動したり、自分の考えを持って仕事ができるようになったとき	上司に任せてもらえる仕事が増え、自己成長を感じたとき	自身の準備した道路事業に関するパネルが商業施設に展示され、新聞の片隅に載ったとき	職場の雰囲気がいい！最初は仕事に不安を感じてたが、すぐに相談ができるので心配なく仕事に打ち込むことができる	福利厚生がしっかりしていて、職場の近くに宿舎があるので生活の時間をしっかり取れること	皆さんが優しく教えてくださり、非常に質問がしやすく、話しかけやすいこと

業務の中でこのほうが効率よくできると思ったときに気軽に提案できて、実践させてもらえること	入省後も、業務を通して自分で調べたり、勉強することが想像以上に多いこと	仕事に対してみなさん前向きな考えを持った人が多い	ホワイトボード(100均)に一日の目標を書きだしてモチベーション維持していた	多くの過去問を解くことで試験問題の傾向をつかむことや、勉強をやりたくないときは勉強をしないなど、メリハリをしっかりとつけること	苦手科目で平均点を取れるように難しい問題を捨てること。自分で取捨選択することが大切！
現場に出ることよりも受注者との打ち合わせ等が多い	入省後に感じたギャップ	入局1年目から業務委託の方に依頼をするマネジメントに近い仕事をする	国家公務員試験用の参考書や過去問を10年分やりました。各年、できなかったところをメモして、1週間後に解きなおして	国家公務員試験勉強アドバイス	わからないことをすぐに人に聞ける環境を作ることが一番大事！公務員志望の友達や、公務員に詳しい先生を捕まえておく
デスクワークばかりだと思っていたが、現場に出て実際に確認することも多いので仕事のメリハリがつかうこと	時期によって残業が多い雰囲気がある	休日の取り方や働き方(テレワーク・フレックス)に自由度が高い。服装も自由度が高い！	一般教養の中で配点が低い科目は勉強時間を少なく、専門科目等の配点が高い分野に勉強時間を割くのが得点を稼ぐ方法	勉強するときはスマホで自分の動画を撮り、vlog撮影している気分であらう勉強していた(笑)すぐスマホを触ってしまう人におすすめです	筆記試験も重要だが、それ以上に面接試験が大切！自分の言葉で自分の思いをどう伝えるか、実務的な質問に対して答えられるネタ集め(学生時代の出来事を文書化)することを心がけた

研修制度

計画研修の流れ



研修の場所

愛知県名古屋市の中部技術事務所内の研修棟にて実施します。複数日に渡る研修においては、宿泊する場合もあります。また、近年では、オンラインによる研修も充実しており、配属先の事務所や、自宅で研修を受講することも可能です。



研修の例



初任職員研修

入省直後の5日間、事務・技術が合同で実施する研修です。中部地方整備局職員としての自覚を身につけるとともに、社会人としての教養や公務員の基礎知識の他、仕事をする上で最低限必要となる知識、技術等の習得の他、同期との親睦を図ります。



同期との親睦

テックフォース研修

希望者や適任者を対象とし、2日間で実施する研修です。災害時にテックフォースとして派遣される可能性のある職員に、被災状況調査、応急対策の実務訓練等を通じ、TEC活動の幅広い知識・技能を習得し、実行力のあるTEC-FORCE隊員を養成します。



被災状況調査研修

更なるスキルアップを目指して！ 国土交通大学校

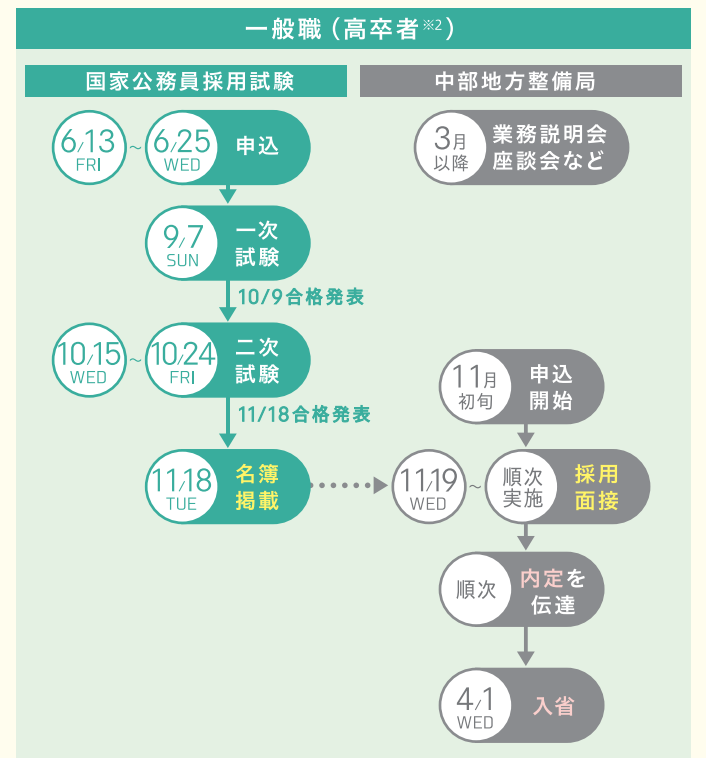
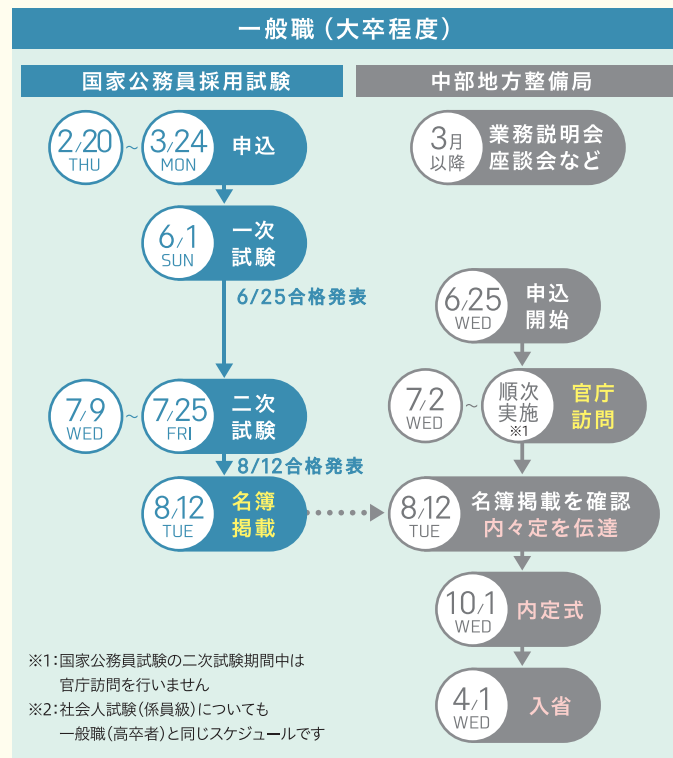


東京都にある国土交通大学校で行われている研修を受講することができます。より高度な研修を受講できるとともに、全国各地の研修生とのつながりをつくるができます。

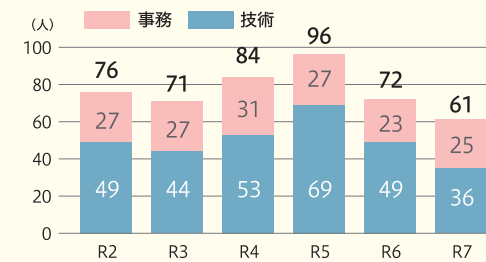
採用について

採用までのスケジュール (R7.4入省者用)

- 国家公務員試験に合格すると、採用候補者名簿に掲載されます。
- 名簿に掲載された方の中から官庁訪問(採用面接)によって選考し、採用者を決定します。



過去の採用状況



【試験区分】

- 事務** 大卒程度:行政(関東甲信越地域、東海北陸地域)
高卒程度:事務(関東甲信越、東海北陸)
- 技術** 大卒程度:土木、機械、デジタル・電気・電子、建築、物理、化学、農学、農業農村工学、林学
高卒程度(社会人試験(係員級)含む):技術(関東甲信越・東海北陸)、農業土木、林学

よくある質問

Q. 官庁訪問とはナニ？

官庁訪問は、受験者が志望官庁を訪問し、面接等を受けるもので、志望官庁に採用されるための重要なステップ(民間企業で言うところの「採用選考活動」)です。各官庁は、官庁訪問を通じて、受験者が各官庁にとって適した人材であるか、行政に対する意欲がどの程度あるかなどの確認を行い、受験者との間でマッチングを行います。「人事院実施の採用試験最終合格＝採用」ではありませんので、必ず官庁訪問に参加してください。

Q. 説明会がたくさんあるが、全部参加した方がいいの？

説明会への参加有無、回数は採用には関係ありませんが、説明会に参加することにはたくさんのメリットがあります。

- ▶働くイメージが広がり、入省後のミスマッチを減らせる
- ▶面接時の志望動機に繋げやすい
- ▶職員の生の声を聞くことで、モチベーションを高められる などなど

学業ともバランスをとり、ぜひたくさんの説明会にご参加ください。

Q. 大学で土木を専攻していなかったのに入省後が不安…

例えば、事業の調査設計の段階では、水質や大気、動植物系の調査を行うこともあり、幅広い知識が必要となるため、土木以外を専攻された皆さんの知識を活かすこともできます。当然、新たな知識の習得も必要となりますが、その際は経験豊かな上司が支えてくれたり、充実した人材育成制度もあるので心配はいりません。また、勉強以外の学生生活で学んだことは皆さんの個性であり、財産です。皆さんの個性をぜひ、仕事に活かしてほしいと思います。

Q. 必要な資格や、入省までに勉強しておかなければならないことはありますか？

特にありません。入省してから一つひとつ学んでいけば大丈夫です。また、新規採用職員を対象とした研修制度も充実しているので心配いりません。熱意のある人をお待ちしています。